

春日井市民病院

クリニカルインディケーター(臨床指標)

クリニカルインディケーター(臨床指標)は、病院の様々な機能を、各分野の指標を用いて表したもので、これを分析し、改善を進めることにより医療サービスの質の向上を図ることを目的としています。

I 病院全体に関連する指標

- 1 外来患者数
- 2 外来予約患者数
- 3 休日・時間外患者数
- 4 入院患者数
- 5 退院後6週間以内の再入院件数
- 6 初診時紹介患者数・診療情報提供数
- 7 病床(ベッド)当たりの医師・看護師数
- 8 病床利用率
- 9 平均在院日数
- 10 褥瘡の新規発生件数
- 11 剖検率
- 12 手術件数

II 医療安全に関連する指標

- 1 インシデント発生数
- 2 転倒・転落の結果、骨折・頭蓋内出血が発生した件数
- 3 院内で発生した針刺し件数

III 救急に関連する指標

- 1 診療時間外救急受入数
- 2 救急車受入数

IV 検査に関連する指標

- 1 輸血製剤廃棄率

V 診療科(精神科を除く)等における検査・手術件数等

- 1 内科
- 2 神経内科
- 3 呼吸器科
- 4 消化器科
- 5 循環器科
- 6 小児科
- 7 外科
- 8 整形外科
- 9 形成外科
- 10 脳神経外科
- 11 呼吸器外科
- 12 心臓血管外科
- 13 皮膚科
- 14 泌尿器科
- 15 産婦人科
- 16 眼科
- 17 耳鼻いんこう科
- 18 放射線科
- 19 麻酔科
- 20 歯科口腔外科
- 21 救急部

I 病院全体に関連する指標

病床数 556床(一般病棟 550床・感染症病棟 6床)

1 外来患者数[病院概要]

- ・外来患者数は、診療日の外来患者数の1年分を合計したものです。
- ・1日平均外来患者数は、外来患者数を診療日数で割ったものです。
- ・地域医療を守るため、総合病院と地域の病院との地域連携を推進しています。「かかりつけ医」をもつことを推奨しているため、22年度は前年比約11,000人減少しました。

	21年度	22年度
外来患者数	371,703 人	360,525 人
外来診療日数	242 日	243 日
1日平均外来患者数	1,536.0 人	1,483.6 人

2 外来予約患者数[病院概要]

- ・外来受診される患者の待ち時間短縮を図るため、予約制による診療を行っています。
- ・22年度は外来患者数の減少に伴い、前年比約8,800人減少しました。

	21年度	22年度
外来予約患者数	269,095 人	260,277 人
再来患者数	308,798 人	304,221 人
予約率	87.1 %	85.6 %

3 休日・時間外患者数[病院概要]

- ・休日・時間外患者数は、通常の診療時間外患者数を365日分合計したものです。
- ・地域医療を守るため、症状が軽いにもかかわらず通常の診療時間外に受診する「コンビニ受診」をやること。また、救急車の適正使用を推進していることから、22年度は前年比約2,400人減少しました。

	21年度	22年度
休日・時間外患者数	33,472 人	31,041 人

4 入院患者数[病院概要]

- ・入院患者数は、日々の入院患者数を365日分合計したものです。
- ・当院は急性期病院として入院機能を主体としており、22年度は前年比約2,700人増加しました。

	21年度	22年度
入院患者数(延べ)	179,150 人	181,919 人
入院診療日数	365 日	365 日
1日平均入院患者数	490.8 人	498.4 人

5 退院後6週間以内の再入院件数

- ・再入院件数は、効率的な医療提供を目指し粗診粗療にならないために把握するものです。
- ・22年度は前年比約70件減少しました。

	21年度	22年度
退院後6週間以内の再入院件数	1,406 件	1,338 件

6 初診時紹介患者数・診療情報提供数[統計資料]

- ・地域医療を守るため、総合病院と地域の病院との地域連携を推進しています。22年度紹介患者数は、前年比約2,100人、診療情報提供数は約7,300件増加しました。
- ・初診時紹介患者数(他の医療機関→市民病院)
- ・診療情報提供数(市民病院→他の医療機関)

	21年度	22年度
初診時紹介患者数	16,888 人	19,055 人
診療情報提供数	10,325 件	17,624 件

7 病床(ベッド)当たりの医師・看護師数[病院概要]

- ・病床(ベッド)当たりの医師・看護師数は、その病院における医師・看護師の充足度を示す指標です。22年度は、前年と比べほぼ同数となっています。

	21年度	22年度
医師	0.26 名	0.26 名
看護師(准看護師等含む)	0.88 名	0.91 名

8 病床利用率

- ・病院の経営管理状態を示す指標の1つです。経営管理という視点からみると、病院にはヒト、モノ、カネが投資されていて、それらがどの程度効率的に活用されているかを知る指標の1つです。22年度の病床利用率は、前年とほぼ同率となっています。
- ・入院患者数に対する病床(ベッド)数の割合
- ・計算式: 入院患者数(延べ) / (病床数550床 × 入院診療日数) × 100

	21年度	22年度
病床利用率(一般病棟)	89.2 %	90.6 %

9 平均在院日数[病院概要]

- ・病床利用率と同様、病院の経営管理状態を示す指標で、患者が平均何日入院しているかを示すものです。22年度は、前年とほぼ同数となっています。
- ・計算式: 延べ在院患者数 / (入院患者数 + 退院患者数) ÷ 2

	21年度	22年度
平均在院日数	13.2 日	13.7 日

10 褥瘡の新規発生件数

- ・褥瘡とはいわゆる床ずれのことで、長期にわたり寝たきりになった場合、体と接触箇所では血行不全となり、周囲組織が腐れる状態です。
- ・褥瘡の発生原因として栄養不良、全身状態悪化、長時間の圧迫、麻痺があります。褥瘡は感染を招き、さらに身体の活力を低下させますので予防が必要です。
- ・22年度は職員が発生件数の減少に努めたため、前年比約30件減少しました。

	21年度	22年度
褥瘡の新規発生件数(定点)	175(93) 件	143(83) 件

11 剖検率[病院概要・統計推移]

- ・入院中に死亡された患者数に対して、病理解剖(剖検)された患者数の割合をいいます。画像診断などの検査の進歩により病状が正確にわかるようになり、全国的にも減少傾向にあります。22年度は当院でも若干ですが件数・率とも減少しています。
- ・計算式: 剖検件数 / 死亡者数 × 100

	21年度	22年度
死亡者数	911 人	985 人
剖検件数	13 件	12 件
剖検率	1.4 %	1.2 %

12 手術件数[病院概要]

- ・手術件数は、当院で実施した手術を合計したものです。
- ・22年度は外来患者数の減少に伴い、前年と比べ約110件減少しています。

	21年度	22年度
手術件数	4,299 件	4,188 件

II 医療安全に関連する指標

1 インシデント発生数[病院安全推進室]

・インシデント報告件数は、医療の透明性の目安といわれており、22年度は前年比約80件増加しました。

	21年度	22年度
インシデント発生数	2,566 件	2,646 件

2 転倒・転落の結果、骨折・頭蓋内出血が発生した件数[病院安全推進室]

・転倒・転落防止のため、施設環境整備を進めるとともに、職員が転倒・転落防止の知識を高め医療・看護業務にあたっており、22年度は前年と比べ2件減少しました。

	21年度	22年度
頭蓋内出血が発生した件数	8 件	6 件

3 院内で発生した針刺し件数[病院安全推進室]

・職員が転倒・転落防止と同様に発生件数の減少に努め、22年度は前年と比べ5件減少しました。

	21年度	22年度
院内で発生した針刺し件数	16 件	11 件

III 救急に関連する指標

1 診療時間外救急受入数[病院概要]

・休日・時間外患者数は、通常の診療時間外患者数を365日分合計したものです。
・地域医療を守るため、症状が軽いにもかかわらず通常の診療時間外に受診する「コンビニ受診」をやること。また、救急車の適正使用を推進していることから、22年度は前年比約2,400人減少しました。

	21年度	22年度
診療時間外救急受入数	33,472 件	31,041 件

2 救急車受入数[統計資料]

・当院は、救急車からの受け入れ要請を原則断っていないため、近隣市町からの受け入れも増加傾向となっております。22年度は前年比約800件増加しました。

	21年度	22年度
救急車受入数	8,172 件	8,980 件

3 蘇生率[事後検証票]

・救急指導医の平成22年度事後検証数(CPA:心肺停止症例・心停止症例)220件のうち、心肺再開件数37件で、蘇生率は16.8%でした。

IV 検査に関連する指標

1 輸血製剤廃棄率[輸血療法委員会]

・輸血製剤の使用は、無駄なく使用されなければならず、輸血製剤の廃棄率は提供された血液が適切に使用されているかどうかを示す指標です。22年度は前年と比べほぼ同率となっています。

	21年度	22年度
赤血球濃厚液	1.65 %	1.76 %
新鮮凍結血漿	0.72 %	0.25 %
濃厚血小板	0.41 %	0.31 %

V 診療科(精神科を除く)等における検査・手術件数等[22年度]

1 内科

手術件数 212 件

* 主な手術・・・循環器系 111件、消化器系 36件、尿路系 34件

2 神経内科

入院患者数 611 人

* 主な疾患・・・脳梗塞 327例、一過性脳虚血発作 44例、脳梗塞後遺症 5例、脳出血 4例

検査

神経生検	1 件
筋生検	3 件
脳波	306 件
筋電図	20 件
末梢神経伝導速度	170 件
CT(X線コンピュータ断層撮影)	4,195 件
MRI(磁気共鳴画像)	4,291 件
SPECT	106 件
脳血管撮影	2 件

3 呼吸器科

手術件数 41 件

* 主な手術・・・胸壁、胸膜、縦隔および横隔膜の手術 21件、胃の切開術および切除術 10件

4 消化器科

新規入院患者数 1,905 人

* 主な疾患・・・消化管出血 189例、炎症性腸疾患 25例、食道癌 24例、胃癌 128例、大腸癌 99例、急性肝炎 22例、慢性肝炎 57例、肝硬変 255例、肝臓癌 216例、総胆管結石 131例、胆石・胆嚢炎 31例、胆道癌 34例、急性膵炎 15例、慢性膵炎 15例、膵臓癌 70例

検査

上部消化管内視鏡	3,941 件
超音波内視鏡	93 件
胃、大腸X線透視	1,151 件
腹部US	1,700 件
大腸内視鏡	1,764 件
腹部血管造影	151 件
内視鏡的逆行性胆管膵管造影	417 件

5 循環器科

手術件数 1,251 件

* 主な手術・・・放射線診断および関連技術 596件、血管の手術 433件、心および心膜のその他の手術 196件

6 小児科

延べ外来患者数 23,898 人

入院患者数 1,347 人

* 主な疾患・・・急性肺炎 293例、急性細気管支炎 41例、気管支喘息 71例、感染症胃腸炎 91例、新生児高ビリルビン血症 41例、熱性痙攣 21例、尿路感染症 29例、川崎病 51例、てんかん 9例、細菌性髄膜炎 7例、腸重積 4例、アレルギー性紫斑病 11例

7 外科

手術件数 1,471 件

* 主な手術・・・ヘルニアの修復術 187件、胆嚢および胆道の手術 187件、
腸の切開術、切除術および吻合術 182件、虫垂の手術 125件、胃の切開術および切除術 106件、
乳房の手術 58件

8 整形外科

手術件数 734 件

* 主な手術・・・大腿骨頸部骨折 150件、脊柱管狭窄症 80件、人工関節手術 80件

9 形成外科

手術件数 108 件

* 主な手術・・・皮膚および皮下組織の手術 70件、眼瞼の手術 15件

10 脳神経外科

入院患者数 495 人

* 主な疾患・・・脳腫瘍 45例、くも膜下出血 61例、未破裂動脈瘤 5例、脳出血 174例、
動静脈奇形 5例、脳梗塞等虚血性疾患 10例、頭部外傷 168例、てんかん・顔面けいれん 13例

手術件数 196 件

* 主な手術・・・脳腫瘍 13件、脳動脈瘤 19件、頭部外傷 77件、血管内手術 9件

検査(脳血管撮影、血管内手術) 150 件

11 呼吸器外科

手術件数 22 件

* 主な手術・・・肺および気管支の切除術 13件、胸壁、胸膜、縦隔および横隔膜の手術 5件

12 心臓血管外科

手術件数 463 件

* 主な手術・・・血管のその他の手術 268件、筋骨格系のその他の処置 12件、
皮膚および皮下組織の手術 5件

13 皮膚科

延べ外来患者数 16,023 人 (内初診者数 2,259人)

入院患者数 1,720 人

手術件数 280 件 (外来手術 246件、入院手術 34件)

14 泌尿器科

手術件数 207 件

* 主な手術・・・膀胱の手術 77件、前立線および精嚢の手術 30件、尿管の手術 28件

15 産婦人科

手術件数 683 件

* 主な手術・・・子宮の切開術および切除術 172件、帝王切開術および胎児摘出術 135件、
 卵巣の手術 115件、子宮および支持組織のその他の手術 96件、

16 眼科

手術件数 559 件

* 主な手術・・・水晶体の手術 514件、網膜、脈絡膜、硝子体および後房の手術 31件

17 耳鼻いんこう科

手術件数 263 件

* 主な手術・・・口蓋扁桃およびアデノイドの手術 68件、副鼻腔の手術 57件、鼻の手術 53件、
 中耳および内耳のその他の手術 15件、中耳の再建術 13件

18 放射線科

①画像診断部門

検査	CT検査	30,258 件
	MR検査	9,484 件
	アイソトープ検査	1,306 件

②放射線治療部門

治療件数 4,000 件

* 主な内訳・・・転移性骨腫瘍 44件、乳癌温存術後照射 17件、頭頸部腫瘍 41件、
 子宮がん 7件、その他 直腸がん 膀胱がん 食道がん など 57件

19 麻酔科

手術件数 4,188 件 (全身麻酔 1,788件、その他 2,400件)

20 歯科口腔外科

入院患者数 471 人

初診患者数 3,375 人

* 主な疾患・・・埋伏智歯(親知らず) 623例、顎関節疾患 282例、粘膜疾患 305例、炎症性疾患 218例、
 顎骨骨折及び歯牙脱臼などの外傷性疾患 281例、嚢胞性疾患 173例、口腔領域における腫瘍 87例
 唾液腺疾患 37例、三叉神経痛などの神経性疾患 19例、口腔乾燥症 40例、顎変形症 10例、
 舌や口唇の小帯位置異常 16例

21 救急部

	総数	救急車搬入患者数 (再掲)	救急入院患者数 (再掲)
救急患者数	31,041 人	6,288 人	1,287 人
平日の時間外救急患者数(再掲)	12,065 人	3,324 人	691 人
休日の救急患者数(再掲)	18,976 人	2,964 人	596 人